

視 察 報 告 書

報告者氏名 小田桐 たかし ㊞

1 委員会名

教育福祉委員会

2 期 間

平成29年8月7日（月）

3 視察先及び視察項目

新設小学校建設候補地

新設小学校建設候補地の現況について

4 所感等

1、学校予定地は、肥よくな一級農地であり、都市計画『整備、開発、保全の方針』に照らしても、「保全」が前提でなければならぬ地域であることがよく分かった。

2、予定地を農地として利活用されている方も、地区全体で平均4割、駅周辺は7割もの減歩（土地提供）で協力しているのに、区域外への学校整備には不満や不信が聞かれている

3、都市軸道路の工事が終了していない＝実際の交通量や規模が不明な中で、また中央分離帯を持つ都市軸道路ゆえに、近隣工業地域における車両の流れが不明な中で、学校予定地や規模設定には危険が生じかねないと思われる。

4、学校予定地・規模が発表され、おのずと概ねの学区は想定されるのに、関係する保護者や教員、自治会等からの意見聴衆が行われていないことで、議会主導の学校誘致には執行権の責任回避があると思われる。

5、万が一にも、視察した予定地に、行政の計画通りの規模で学校を新設する場合には、登下校の安全対策（歩道橋設置、学校前までの歩道整備）など議論すべき課題が多く残されている。